

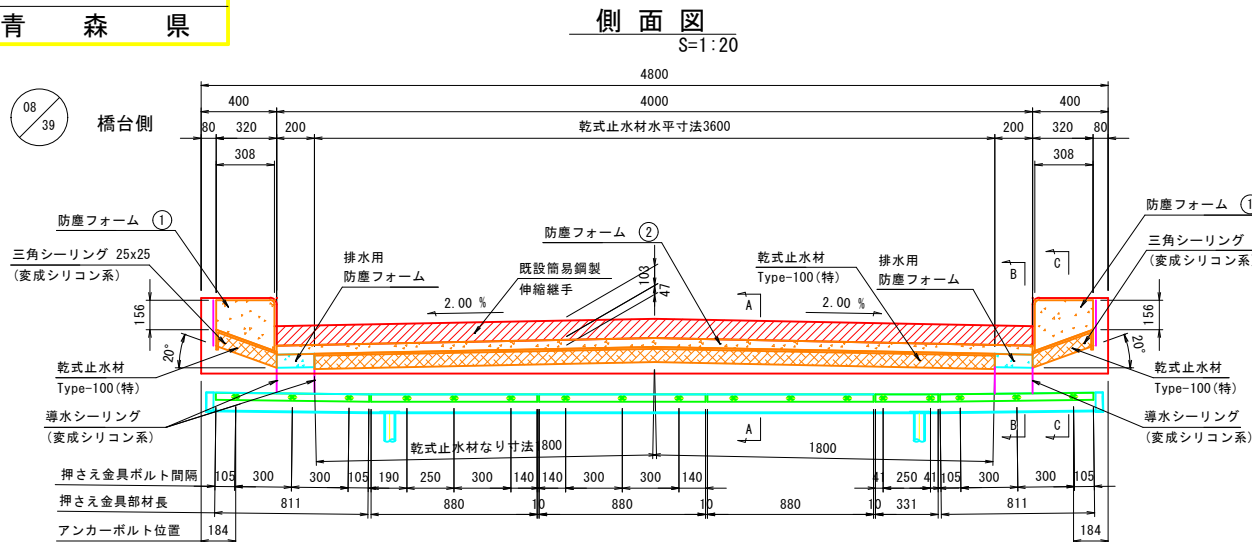
令和8年度 神明橋橋梁補修工事		
工事番号	第 8 号	
路線 河川	阿光坊線	
施工箇所	おいらせ町阿光坊地内	
伸縮装置補修工図 (その5)	縮尺	図示
図面番号	業中	
おいらせ町		
青 森 県		

神明橋 伸縮装置補修工図 (その5)

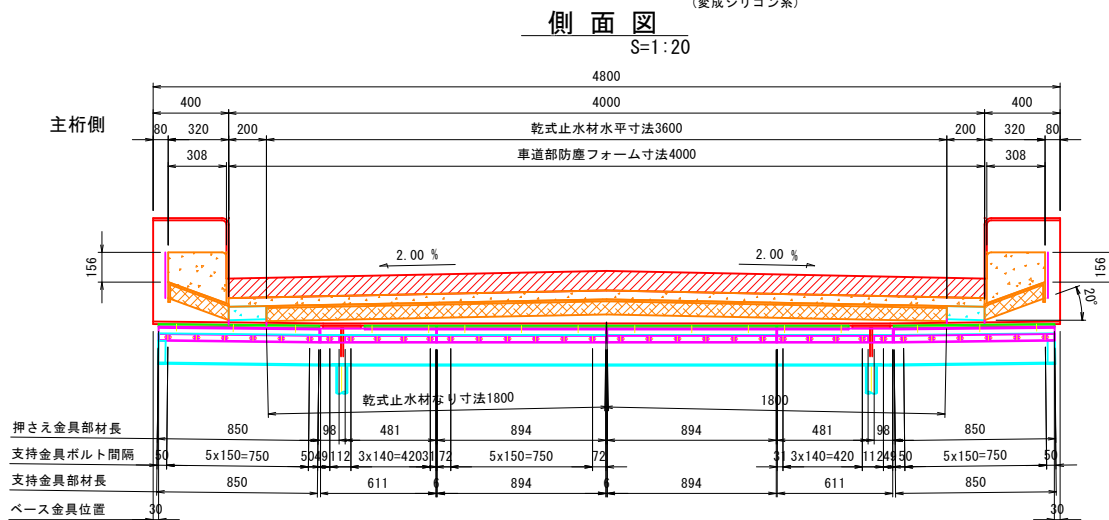
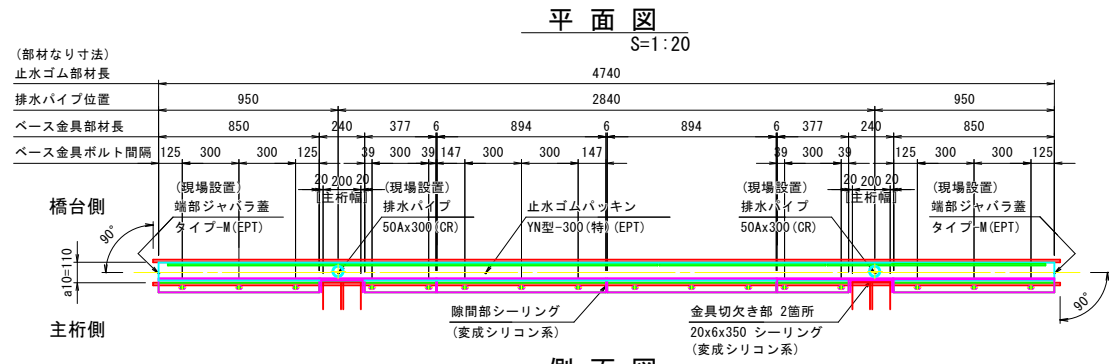
A2橋台

止水材取替工

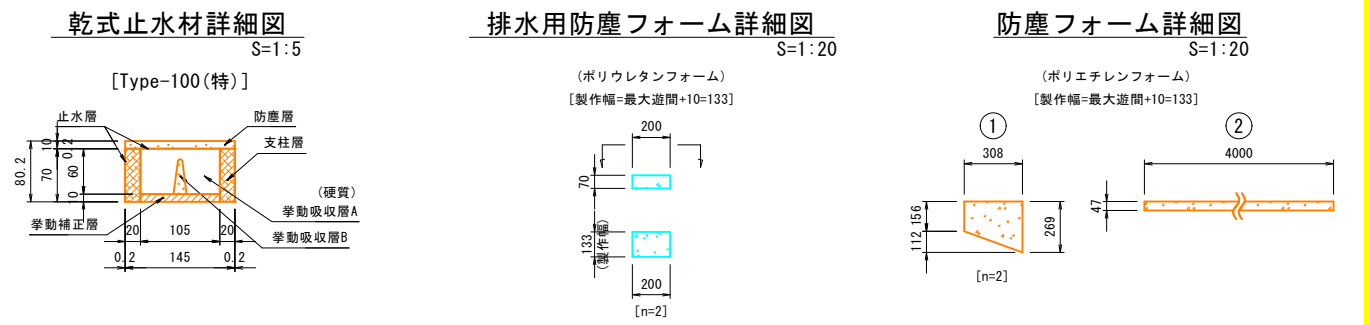
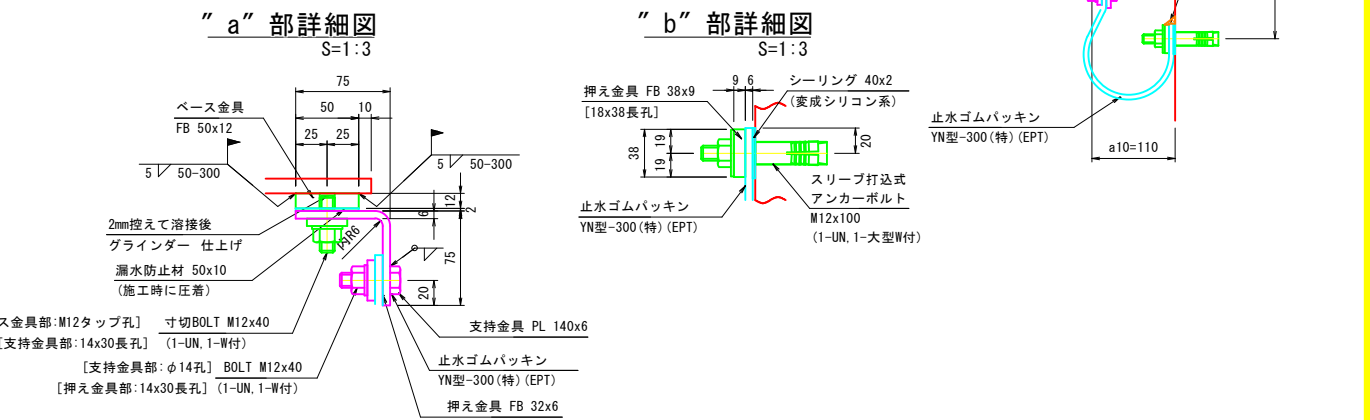
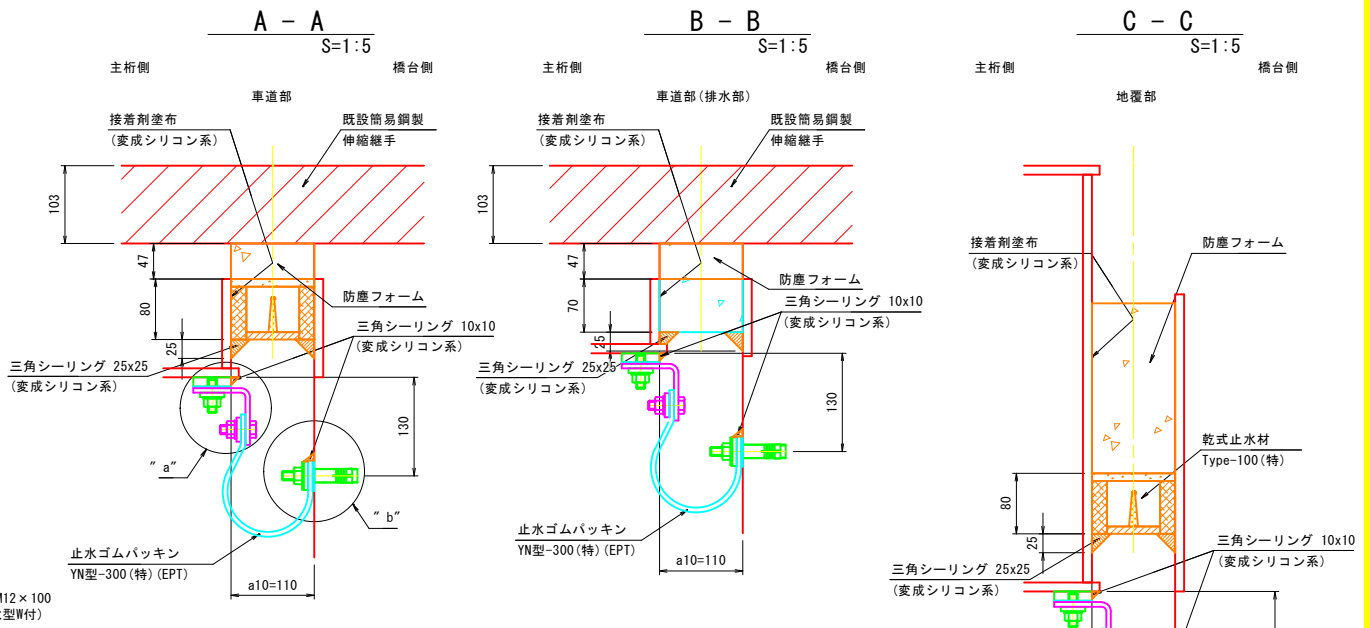
標準ウエブ遊間	+10℃時	110mm
最大ウエブ遊間	-20℃時	123mm
最小ウエブ遊間	+40℃時	93mm



- 2-乾式止水材 Type-100(特) × 341
1-乾式止水材 Type-100(特) × 3600
2-防塵フォーム 133 × 70 × 200
① 2-防塵フォーム 133 × 269 × 308
② 1-防塵フォーム 133 × 47 × 4000
2-漏水防止材 50 × 10 × 850
2-漏水防止材 50 × 10 × 377
2-漏水防止材 50 × 10 × 894
- ※1 2-FB 38 × 9 × 811
※1 1-FB 38 × 9 × 880
※1 2-FB 38 × 9 × 880
※1 1-FB 38 × 9 × 331
- ※1 17-スリーブ打込式アンカーボルト M12 × 100 (1-UN, 1-大型W付)



- ※1 2-FB 32 × 6 × 850
※1 2-FB 32 × 6 × 98
※1 2-FB 32 × 6 × 481
※1 2-FB 32 × 6 × 894
- ※1 2-PL 140 × 6 × 850
※1 2-PL 140 × 6 × 611
※1 2-PL 140 × 6 × 894
- ※2 2-FB 50 × 12 × 850
※2 2-FB 50 × 12 × 377
※2 2-FB 50 × 12 × 894
※1 16-寸切BOLT M12 × 40 (1-UN, 1-W付)
※1 34-BOLT M12 × 40 (1-UN, 1-W付)



- 注記)
- 特記なき鋼材の材質は全てSS400とする。
 - ※1印部材は溶融亜鉛メッキ処理を施す。付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。ただしボルト類はHDZ35とする。
 - ※2印部材は現場溶接であるので熱影響部の既設塗装の剥離を行なって溶接し、溶接後はタッチアップ塗装を行なうこと。
 - 金具に溶接されたボルトは工場出荷時にビニールパイプ等で養生すること。
 - 各種止水材を設置する際、伸縮装置本体の止水材接着面の下地処理を確実に行なうこと。
 - 接着剤(t=3)に接する両部材面及び各種シーリングに接する部材面にはそれらの施工の前にプライマー(0.1kg/m²)を塗布すること。
 - 止水ゴムパッキンの導水用排水パイプの流末処理方法は協議の上決定すること。
 - 施工及び部材製作に際しては現地調査を行ない、本図面との照合を行なうこと。

